

# 令和7年度 評価規準

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
質問に答えるかたちで自分のことを話そう	1	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。</p>	◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している	・積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
楽しく声に出して読もう	1	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。</p> <p>◎文章を音読したり朗読したりすることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている</p> <p>◎文章を音読したり朗読したりしている。</p>	◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	・すすんで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。

# 令和7年度 評価規準

<p>一 情景描写に着目して感想を話し合おう</p>	<p>2</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p> <p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p> <p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p>	<p>・すすんで情景描写に着目して読み、学習の見通しをもって感想を話し合おうとしている。</p>
<p>図に表して整理しよう</p>	<p>3</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>・粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>言葉の文化①</p>	<p>4</p>	<p>◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムにしたしむことができる。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書くようとしている。</p>
<p>言葉の広場①</p>	<p>2</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>		<p>・積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。</p>
<p>漢字の広場①</p>	<p>1</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにできる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>五年生で学んだ漢字①</p>	<p>1</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう</p>	<p>1</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。</p> <p>◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p>	<p>・すすんでグラフの意味や構成要素を理解しようとし、これまでの経験を生かし、どのような傾向や変化が読み取れるか、考えようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう</p>	<p>6</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使えることができる。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。</p> <p>◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p> <p>◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</p>	<p>・今までの学習を生かして、筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら粘り強く読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめようとしている。</p>
<p>三 立場を明確にして主張しよう</p>	<p>6</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにできる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p>	<p>・意見の違いを大事にしながら粘り強く話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>三 立場を明確にして主張しよう</p>	<p>4</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題にそってパンフレットを作ろうとしている。</p>
<p>言葉の文化②</p>	<p>1</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解できる。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>・粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>言葉の広場②</p>	<p>2</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解できる。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p>	<p>・積極的に世代による言葉の違いの理解について話し、学習課題にそって相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場②</p>	<p>1</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解することができる。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。</p>
<p>五年生で学んだ漢字②</p>	<p>1</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>四 表現が読み手にあたえる効果について考えよう</p>	<p>7</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 ◎文章を音読したり朗読したりできる。</p> <p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりできる。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p> <p>◎文章を音読したり朗読したりしている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・すすんで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。</p>
<p>読書の広場①</p>	<p>1</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。</p>	<p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</p>	<p>・地域の施設について調べ、情報収集のための活用方法を考えている。</p>

# 令和7年度 評価規準

読書の広場②	1	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・読書生活を振り返り、「特別な一さつ」を紹介し合ったり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>
相手の思いを考えながら聞こう	2	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p>	<p>・積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。</p>
詩を読もう	1	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。</p> <p>◎文章を音読したり朗読したりすることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p> <p>◎文章を音読したり朗読したりしている。</p>	<p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p>	<p>・積極的に言葉の広がりを味わい、学習課題にそって詩の世界を楽しもうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>言葉の文化③</p>	<p>1</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている</p>	<p>・すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」を作ろうとしている。</p>
<p>五 てんかいを工夫して物語を書こう</p>	<p>5</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。</p> <p>◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p>	<p>・積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題にそって写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>言葉の広場③</p>	<p>3</p>	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p>	<p>・すすんで、言葉には伝え方次第で相手に自分の考えがうまく伝わらないことに気づき、見直しをもって、自分の考えを適切に伝えようとしている。</p>
<p>漢字の広場③</p>	<p>1</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって、意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>五年生で学んだ漢字③</p>	<p>1</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字をよむことができる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>国語の学習 つながる ひろがる</p>	<p>1</p>	<p>○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解することができる。</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>・積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、これまでの学習を生かして計画的に学習しようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>一 ファンタジーを読み 自分の考えをまとめよう</p>	<p>8</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>・すすんで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化④</p>	<p>4</p>	<p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。</p>	<p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>・積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題にそって自分の考えをまとめようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>二 説得力のある文章を書こう</p>	<p>6</p>	<p>◎文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。</p> <p>◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。</p>	<p>◎文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>・積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題にそって理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
<p>漢字の広場④</p>	<p>1</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>五年生で学んだ漢字④</p>	<p>1</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう</p>	<p>1</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している</p>	<p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>・すすんで友達と自分の感じ方の違いについて考えようとし、見通しをもって、『ぼくの世界、君の世界』の学習に生かそうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう</p>	<p>7</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・学習の見通しをもって、筆者の考えに気をつけながら文章の要旨を捉えるとともに、自分の経験をふり返りながら「心の世界」について考えようとしている。</p>
------------------------------	----------	--	-------------------------------------	--	---

# 令和7年度 評価規準

<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう</p>	<p>4</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる  ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。  ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。  ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。  ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。  ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>
<p>読書の広場③</p>	<p>3</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。  ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p>	<p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書履歴などを振り返りながら、粘り強く自分が作った本について考えようとしている。</p>
<p>言葉の広場④</p>	<p>2</p>	<p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。</p>	<p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。</p>		<p>・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題にそって敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>詩を読もう</p>	<p>1</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付うことができる。 ◎文章を音読したり朗読したりすることができる ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えることができる。</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ◎文章を音読したり朗読したりしている。</p>	<p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p>	<p>・すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。</p>
<p>四 筆者の書き方の工夫を見つけよう</p>	<p>3</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・今までの学習を生かして、積極的に文章の特徴について理解するとともに、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

<p>五 伝えたいことを明確にして書こう</p>	<p>5</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p>	<p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>・自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉と私たち</p>	<p>2</p>	<p>◎話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p>	<p>◎話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>・すすんで言葉に対する自分の考えをもち、友達と交流したり書いたりすることをおして、言葉への関心を広げようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

漢字の広場⑤	1	◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにできる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
五年生で学んだ漢字⑤	1	◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。  ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

# 令和7年度 評価規準

<p>六 伝記を読んで、生き方について自分の考えをまとめよう</p>	<p>11</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>・学習課題にそって津田梅子の生き方を考えた後、自分のこれまでに会った人やもの・こととのつながりを思い出し、積極的に自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>言葉の広場⑤</p>	<p>2</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解することができる。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p>	<p>・積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>

# 令和7年度 評価規準

漢字の広場⑥	1	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにできる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>
ひろがる言葉	3	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。</p>		<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>・積極的に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもとうとしている。</p>